

2022-12

学会通信

令和04年12月12日

NO.95

工業経営研究学会

Association for the Study of
Industrial Management (Japan)

第37回全国大会（Web大会）開催報告

第37回 全国大会実行委員長
池田 武俊

工業経営研究学会第37回全国大会は、千葉商科大学を開催校として、2022年9月8日から9日の2日間の日程で開催されました。残念ながら今大会もZoomを使用した全面オンラインでの開催となりましたが80名を超える会員の皆様にご参加いただきました。厚く御礼申し上げます。

9月8日に理事会、開会式、自由論題、研究分科会、会員総会を、9月9日にオンライン工場紹介・特別講演、統一論題というプログラムにて開催いたしました。

今大会での大きな試みは「オンライン工場紹介・特別講演」の実施です。この企画は、東日本部会で実施されていたオンライン工場見学を参考にして、企画いたしましたものです。

「オンライン工場紹介・特別講演」にご協力いただいたのは、栃木精工株式会社の代表取締役社長 川嶋大樹様です。栃木精工は、注射針を中心とした医療機器製造・医療機器製造販売を中心とする企業です。2022年健康経営優良法人、地域未来牽引企業に選ばれるなど、栃木地域のモノづくりを牽引する中核中小企業として活躍するだけでなく、コロナ禍においては、ワクチン接種用注射針の安定・大量供給という大役を全社一丸となって担われている企業です。

生産、加工工程の動画、企業紹介の動画を視聴の上、川嶋社長の特別講演、その後参加者との質疑応答がおこなわれました。2時間にわたるセッションでしたが、興味深いお話、活発な質疑応答を通じて、実り多い学びの時間となりました。

自由論題は多くの会員の皆様にエントリーいただきセッションを編成することができました。司会者の司会進行の元、報告と質疑応答がおこなわれ、報告者、参加者それぞれが学びあう機会となりました。

統一論題は「不確実性が高まる中でのガバナンスとモノづくり」のテーマのもと、第1報告として宇山通先生（九州産業大学）より「部品共通化に伴う不確実性への対処 一部品共通化研究の整理と自動車企業の到達点を踏まえて」を、第2報告として牧良明先生（大阪公立大学）より、「日本自動車産業の不確実性と求められる対応—戦前期の電装品取引の考察を手掛かりに—」を、第3報告として那須野公人先生（作新学院大学名誉教授）より「コーポレートガバナンスの重点移行と不確実性の時代に対するものづくり企業の対応 —地場のモノづくり企業における「オープンファクトリー」化との関連より—」をそれぞれご報告をいただきました。その後、第1報告に対し村上喜郁先生（追手門学院大学）から、第2報告に対し田口直樹先生（大阪公立大学）から、第3報告に対し下畑浩二先生（相愛大学）からコメントを頂戴し、質疑応答がなされました。

今日的な不確実性の中で求められる持続可能な工業経営の未来像を検討していく壮大なテーマ設定でしたが、先生方の大変意欲的なご研究の成果により、成功裏に終えることができました。

最後になりますが、第37回全国大会を開催するにあたり、多くの先生方にご協力をいただいたことに心より厚く御礼申し上げます。今大会をリアルで開催するのかオンラインで開催するのかを理事会で検討するところからスタートしたため、大会情報の通知やオンライン設定の通知にて会員の皆様にご迷惑をおかけした部分もございますが、オンライン開催ならではの新しい取り組みを試みることができました。多くの会員の皆様のご支援を得て無事に開催できましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

また、大会実行委員を務めていただいた奥寺葵先生（千葉商科大学）、布施雄治先生（千葉商科大学）にもこの場を借りて御礼申し上げます。

投稿論文募集のお知らせ（学会誌 第37巻 第2号）

学会誌編集委員長

秋野 昌二

2023年9月末発行予定の第37巻第2号への投稿論文を募集します。募集期間と原稿送付先は、次の通りです。

■募集期間

2022年11月1日～2023年4月末日まで【必着・厳守】

論文審査は、募集締め切り後にまとめて実施します。

■原稿送付先（「学会誌編集委員会」宛）

メールアドレス：editor12th@asimj.sakura.ne.jp

【投稿上の注意】（よくお読みいただいたうえ、ご投稿ください。）

- ・招待論文を除き、論文はすべて査読付となります。
- ・ホームページ掲載のテンプレートにしたがってご執筆いただきます。そのため、**校正は行いません**。なおテンプレートは最新のをダウンロードしてお使いください。またテンプレートの他、投稿規定・執筆細則・投稿申請書は、下記の学会ホームページに掲載してあります。よくお読みいただき、ご投稿ください。

http://asimj.jp/wordpress/?page_id=1307

- ・アブストラクトは200ワード以内、キーワードは5ワードまで記入をしてください。
- ・送付いただくのは**論文の原稿（Word および PDF）と申請書**の3つのファイルになります。
- ・掲載が決定し、最終原稿を投稿していただいたあとは校正を行いませんので、最終原稿は修正を必要としない**完成原稿での投稿**をお願いいたします。

※これまでの投稿からの**変更点**：ご確認の上ご投稿をお願いします。

- ・前の投稿規定第6条の「印刷された原稿と投稿申請書を各1部」の送付は必要ありません。
- ・投稿頁数も前の投稿規定第4条とは異なって18頁までとなっています。

- ・掲載論文の本数によっては次号との合併号となる可能性があります。その場合には掲載が次号に先延ばしになることもありますので、ご了解ください。ただし、採択が決定した投稿論文については、投稿者のご希望により、決定した旨の通知書を発行いたしますので、その場合には、編集委員会にご連絡ください。

以上につきまして、ご質問等がございましたら以下のメールアドレスまでご連絡ください。

akinos@rikkyo.ac.jp (立教大学 秋野晶二)

「学会賞・研究奨励賞・若手研究者賞」候補作品の募集

会員表彰選考審査委員会委員長
中川誠士

本学会「内規」第14条により、2023年度の学会賞（年齢制限なし）・研究奨励賞（31歳以上39歳まで[10月1日現在]）・若手研究者賞（30歳以下[刊行時点]）の候補作品の推薦を、2023年4月末日までに中川誠士副会長（会員表彰選考審査委員会委員長）または学会事務局宛にお知らせください。自薦・他薦を問いません。なお、会員表彰推薦書の様式は学会ホームページに掲載されているものをダウンロードしてご利用ください。

第38回全国大会のお知らせ

宇山 通（九州産業大学）

第38回全国大会は、九州産業大学にて行う予定です。大会開催日は、2023年8月29日～31日である。2023年8月29日が理事会のみである。

第12期2022年度第37回総会報告

日 時：2022年9月8日（木）15:40～16:10

場 所：ZOOM開催

- ・大平会長より、挨拶が行われた。

【報告事項】

1. 会員異動（事務局）

- ・新規入会者7名、退会者27名、逝去者1名の会員異動、そして、2022年8月15日時点の会員数の内訳、「正会員221名、院生会員24名、シニア会員10名、総数255名」が報告された。
- ・大平会長より、平松茂実氏の逝去について報告があり、黙とうが行われた。

2. 学会誌編集委員会活動（秋野）

（1）印刷会社の変更

- ・秋野委員長より、清風印刷様廃業に伴い国際文献社に印刷会社を変更したについて、報告がなされた。

（2）学会誌編集状況

- ・36巻2号学会誌の編集状況、37巻1号、37巻2号学会誌の編集計画について報告がなされた。

3. 論文審査運営委員会活動（中瀬）

- ・36巻2号学会誌の論文査読状況について報告がなされた。

- ・投稿論文4本、うち3本掲載、9月末日発行予定

4. 会員表彰選考審査委員会活動（中川）

- ・会員表彰選考審査状況について報告がなされた。

- ・研究奨励賞、若手研究者賞：推薦なし

- ・学会賞：2点の推薦があり、審査の結果、学会賞の表彰がなし

5. 第37回全国大会（池田）

- ・第37回全国大会の準備状況、オンライン工場見学等のプログラムについて報告がなされた。

6. 次年度の全国大会（事務局）

- ・現在が準備中であり、対面開催を目指すことが報告された。

【審議事項】

1. 学会誌投稿規程の変更（秋野）

- ・秋野委員長より、既に理事会で了承された投稿規程第4条と第6条の変更について、配布資料に基づき、以下のとおり報告がなされ、会員より承認がなされた。

- 1) 投稿規定第4条の修正：混乱を除き、超過分の実費徴収の手間を省くため、投稿枚数の規定を変更する。

第4条「・・・原則として、招待論文並びに査読論文は12頁以内（18頁を上限とする）、その他（書評、調査報告）は6頁以内とする。」

- ➡「・・・招待論文並びに査読論文は18頁以内、その他（書評、調査報告）は6頁以内とする。それ以上の超過をした場合には、論文を受理しない。」

- 2) 投稿規定第6条の修正：現在、デジタルファイルに加え、現物での送付もしてもらっていた。実質的にこの現物は利用されておらず、他学会でもすでに現物のやり取りをしているところはあまりない。

第6条「論文投稿の際には、まず、以下の2点を指定されたメールアドレスに送信する。・・・次に、印刷された原稿と投稿申請書を各1部、指定された送付先に送付する。」

- ➡「次に、印刷された原稿と投稿申請書を各1部、指定された送付先に送付する。」を削除。

2. 学会誌の電子化（秋野）

- ・秋野委員長より、既に理事会で了承されたJ-Stage登録と学会誌の電子化について、配布資料に基づき報告がなされた。まだ検討課題が多いが、今後学会誌が電子化することについて、会員より承認がなされた。

★前理事会からの引継ぎ事項として検討。

★新印刷会社と電子化対応について議論をし、J-Stage登録と学会誌の電子化を選択。会長が、理事会判断で進め、総会での事後承諾を得ることが適切と考え、理事会で承認。

★電子化への移行の理由：1) コスト的に有利、2) 時代の要請、3) そのほか、である。

3. 工業経営賞の表彰（池田）

・第 37 回全国大会池田実行委員長より、既に理事会で了承されたオンライン工場見学先（栃木精工株式会社）への工業経営賞贈呈について報告がなされ、会員からの承認も行われた。

4. 2021 年度会計決算（中島）（藤原）

・中島会計担当理事より、配布資料に基づき、決算書の収入と支出、および貸借対照表の借方と貸方の金額について報告がなされた。

・会費収入が前年と比べて約 53 万円ほど減少していることは、学会費の請求書類の送付日が従来よりも遅くなり、6 月中旬になったことによるものであることが説明された。そして、6 月 30 日で一度会計を締めるため、7 月 1 日以降に納付された学会費は、2022 年度の会計に含まれることになるため、2022 年度の決算では、21 年度と比べて金額が大幅に増加することが予想されることが説明された。

・収入の部の決算額が 5,514,165 円であることが報告された。

・支出の部の決算額が 1,747,465 円であること、次期繰越金が 3,766,700 円となることが報告された。

・藤原会計監事より、決算の監査報告に関して、通帳や領収書を確認し、間違いがないことが報告された。

・以上の会計決算について、会員からの承認がなされた。

5. 2022 年度会計予算案（中島）

・中島会計担当理事より、配布資料に基づき、2022 年度会計予算案について報告がなされた。

・前期収入の部の予算額が 1,731,010 円であり、前期繰越金が 3,766,700 円であり、合計 5,497,710 円であることが報告された。

・支出の部の予算額が 2,640,000 円であり、次期繰越金が 2,857,710 円であることが報告された。

・以上の予算の内容について、会員の承認がなされた。

会員異動の報告（2022.5～2022.11）

【入会者】（敬称略）

「正会員」

村田 幸江（りらいあコミュニケーションズ（株））

河野 良治（秀明大学 総合経営学部）

園田 陽一（株式会社地域環境）

加藤 秋人（名古屋経済大学 経済学部）

森田 聡（北陸大学 経済経営学部）

「院生会員」

公 妍如（高崎商科大学 商学研究科）

【退会者】（敬称略）

「正会員」 今道 幸夫（大阪市立大学）

鈴木 良始（同志社大学名誉教授）

村中 光治（マツダ株式会社）

熊澤 光正（四日市大学）

関岡 保二（元中央学院大学）

鈴木 智気 (金沢大学)
森田 弥 ((株) 環境総合研究会)
蔡 櫻鈴 (台湾・国立暨南国際大学)
吉田 幸雄 (大阪成蹊大学)
下左近 多喜男 (大阪工業大学)
石嶋 芳臣 (北海学園大学)
稲田 勝幸 (広島修道大学)
田中 求 (道都大学)
今野 喜文 (北星学園大学)
佐藤 浩史 (札幌大谷大学)
山本 圭三 (摂南大学)
長坂 泰之 ((独) 中小企業基盤整備機構)
張 智雲 (追手門学院大学)
松野 成悟 (宇部工業高等専門学校)
石島 隆 (法政大学大学院)
井上 雅由 (特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会)
早川 健太郎 (名古屋経営短期大学)
金子 豪 (四国大学附属経営情報研究所)
折原 浩 ((株) ディセンター)
篠原 健 (追手門学院大学)
栗原 道明 (アイ・エム・エス・ジャパン (株))

「院生会員」赤坂 武道 (北海学園大学大学院)

メール登録・更新のお願い

現在、学会通信をはじめ学会に関する情報はメール配信を基本としております。9割方の会員の皆さまはメール配信で情報を届けることが出来ております。また、2022年9月8日の総会で承認されたように、現在、学会誌の電子化への移行を準備しております。学会誌の電子化に伴い、紙媒体の学会誌の発行がなくなります。

今後、会員メーリングリストがますます重要な連絡方法になるため、メールアドレスを登録していない会員の皆様、登録しているメールアドレスが失効している会員の皆様は、改めてメールアドレスの登録をお願いする次第です。マイページにアクセスし会員情報を変更していただくか、下記の要領で工業経営研究学会会員窓口 (asimj-post@as.bunken.co.jp) へ連絡いただきますようお願い致します。

- ・送信先メールアドレス：asimj-post@as.bunken.co.jp
- ・件名：登録メールアドレス
- ・メール本文：会員氏名および登録メールアドレス

異動時の会員情報更新のお願い

所属先、住所、メールアドレス等、会員情報に変更が生じた場合、逐次更新して頂きますようお願い致します。

学会ホームページに会員専用ページ（マイページ）を公開しています。会員情報の確認・変更や会費納入状況の確認等をWEBから行うことができます。学会ホームページの「マイページ（会員専用ページ）」からログインし、変更が必要な情報は逐次更新お願いいたします。なお、ログインに必要な会員番号とパスワードは、会費請求時に記載されている会員専用のログイン情報をご確認ください。

工業経営研究学会会員窓口（〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター、Tel : 03-6824-9373 Fax : 03-5227-8631、E-mail : asimj-post@as.bunken.co.jp）にご連絡頂いても結構です。

工業経営研究学会 学会通信 95 号 (22-12) 2022.12.12

発行人 大平 義隆 編集担当 李 超

学会事務局 近畿大学経営学部キャリア・マネジメント学科 李超研究室内

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

Tel: 06-4307-3337

E-Mail: richou@bus.kindai.ac.jp、HP: <http://asimj.jp/>

工業経営研究学会 会員窓口（会費納入、住所管理、学会通信の郵送など）担当

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

Tel : 03-6824-9373 Fax : 03-5227-8631 E-mail : asimj-post@as.bunken.co.jp

※受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00（土日祝を除く）